

令和6年度 琢成小学校の学校経営

【 建学の精神 】

『玉不琢 不成器 人不学 不知道』（中国の古書「礼記」より）

I 学校の教育目標 「夢に向かって自分らしく輝き、仲間とともに未来を拓く琢成の子ども」

〈めざす子ども像〉

“かしこい知恵のふもとを築く” 琢成の子

（好奇心を高め、学びへ向かう「できるようになりたい！もっと知りたい！」 対話を通して深い学び）

“声かけあって未来をめざす” 琢成の子

（まわりの人々の価値を尊重できる 自分のよさや可能性を見出せる）

“心と身体を日々にきたえる” 琢成の子

（まわりの人々と協働できる よりよい生き方を切り拓く）

II めざす学校像

○子ども達一人一人を大切にし、温かなふれあいが広がる学校

○子ども達一人一人の意欲を引き出し、よさを伸ばす学校

○子ども達とともに創意工夫し、さわやかな挨拶と笑顔があふれる学校

* 「学校の教育目標」具現化に向けた取り組みを通して、保護者・地域から信頼される学校

III ありたい教師像

○「あなたが大切・あなたを知りたい」という気持ちを常に持ち、子どもの心に寄り添える教師

○小さな進歩やよさに気づき、好奇心の目を広げ、次への意欲を引き出す教師

○子ども達の手本や目標・あこがれとなるように、日々進化し学び続ける教師

IV 学校経営の重点

1 どの子どもも輝き、「いのち」を大切に作る学校

(1) いのちや生き方を大切に作る教育を推進する。

・人と人とのふれあいやかかわりを深める。（学び合い、五感を生かした活動）

・「友達の考えを聞き合い話し合い、よりよいものを創り上げる」「異学年交流を計画的に実施し、リーダーシップとフォロワシップによる達成感や感謝の気持ちを共有する」

これらを通して、友達のよさや自分のよさを実感し、温かな人間関係と自信につなげる。

(2) 教職員一人一人の危機管理意識を高める

・日々の児童の姿から危険を予測（「保健・防災・安全」「各種感染症防止」「いじめ・不登校防止」）

・スピード感を持って情報の共有化と対応を図る

2 カリキュラム・マネジメントを活かし、子どもとともに創る 共感・感動のある学校

(1) 教職員と児童が一体となって取り組む目標を設定し、共感・感動のある学校づくりを進める。

・人とのふれあいを通してキャリア教育の視点を意識（生き方を学ぶ・体験的な学習の充実）

(2) ねらいと子どもの活動意欲を大切に授業や教育活動づくりに努める。（OJTを活かして）

・創意ある単元づくりで、学ぶ楽しさの共有と指導力の向上を図る。（協働的な学びの質の向上）

- ・どの子も伸びを実感する授業と適切な振り返り（指導と評価の一体化・メタ認知）
- (3) 豊かな感性や表現力をはぐくむ意図的な教育活動を進める。
- ・ダイナミックな活動やアイディアが光る学校づくり（考え、工夫し実現する。楽しさを体感する。）
 - ・「本や新聞を読んで考える⇔自分の言葉で書く」教育環境づくりと「ことば」の研ぎ澄まし。
 - ・ICTの積極的な活用。
 - （言語能力の向上・・・長文を読む・言葉の意味を知り適切に活用する。）
 - （情報活用能力の向上・・・必要としている情報を的確に取り出す。）

3 協働を大切にされた開かれた学校

- (1) 同僚性を高め、教職員の創意工夫を活かした実践を積み上げ、活力や充実感につなげる。
- (2) 家庭・地域の教育力を生かした教育活動を推進する。（総合的な学習の時間・・・価値ある地域素材の活用、SDGsの視点を大切にされた取り組み）
- (3) 「育ちや学びをつなぐカリキュラム」の充実を図り、小中一貫教育を推進する。
- (4) 幼保・家庭や学童保育所と連携し、児童の心の安定やよりよい人間関係づくりに努める。
- (5) コロナ禍における実践から学び、教師としての使命感、高い専門性、豊かな人間性を大事にしなから、最重要事項の見直しや方法の変更等、働き方改革を推進する。

V 指導の重点

<p>1 かしこい知恵のふもとを築く ◆授業改善＝知的好奇心をくすぐる ◆家庭学習と運動</p> <p>《授業》・ねらい達成のための計画（見通しを立てる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報の収集・整理（思考の可視化）（個別最適な学び） ※本・新聞・資料・ICT・取材・インタビュー ※思考ツールの活用 ・いろいろな方向から考え、根拠を明確にして判断（協働的な学び） ・自分の考えや思いを次に活かす（観点を明確にした振り返り） <p>《家庭》・学校での学びの定着（復習）→深める（活用・予習・生活との関連）→授業で活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞やニュースの内容について、家族と話す・調べる
<p>2 声かけあって未来をめざす ◆お互いの価値を尊重し合い・支え合い・高め合う集団 ◆公益の心（道徳）</p> <p>○みんなで創り上げる活動を意図的計画的に仕組む・・・児童の発想を生かす・PDCAサイクルを活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失敗や課題を克服するチャンス・自分たちの姿を客観視させる（自己肯定感を高める） ・互いのよさ（共感・共有・自信）や相手のことを考える機会 ・ねらいとする最終の具体的姿を持ち、そのためにどのような声掛けや手立てを工夫するか。 ※学級・異学年交流・全校・委員会活動・クラブ活動・登校班・清掃班 <p>○生き方を学び、自分の行動に変化を起こす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のために（奉仕・「公益の心」の涵養） 自分の生き方につなげる（感動・憧れ） ※生活科・総合的な学習の時間・キャリア教育・行事 等
<p>3 心と身体を日々にきたえる ◆自己管理能力と自己回避能力の向上 ◆体を動かす楽しさや喜びの実感</p> <p>○現状を知り、自分事として考える → 気づきを大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> ※生活の知恵・科学的根拠・別の立場からの目線・危険を予測（保健・防災・安全） <p>→自分で・学級で・家族と：よりよい行動に変える（小さな一歩を生活の中で活かす）</p> <p>○健康への意識とつながりを感じる食育（体づくり、心づくり、おこないづくり）</p> <p>○体育（運動）や遊びを工夫 → 体を動かす楽しさを実感（汗を流す）</p> <ul style="list-style-type: none"> ※むずかしいことにもあきらめず挑戦（友だちと教え合いやり遂げる）